



みらいん

わかばやし

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月の
ひと

講師は「なごみ系」な
三本塚パソコン教室

わたしたちの「IT」とは、
ITいつも TIIたのしく

カタカタとキーボードをたたく音が聞こえ、出荷する野菜に貼るラベルをつくる人や家計簿をつける人が、熱心にパソコンと向き合っています。

三本塚パソコン教室は、毎週土曜日の夜に、日辺グラウンド仮設住宅談話室で開催されています。この教室は、二〇〇九年から三本塚公会堂で始まりました。スタート時から講師を務めているのが佐藤敏之さん(写真中央)です。

「今では笑い話ですが、初めは、ノートパソコンの上蓋を開くことさえできなかった人もいました。電源の入れ方に始まって、文字の打ち方やマウスの使い方など、パソコンのいろはから教えました」と、目を細めながら語る佐藤さん。「皆が集まり楽しく過ごす事が大きな目的です。パソコンの技術上達だけを指すのではなく、震災で住むところがバラバラになってしまった住民の憩いの場になるように継続しています」と、佐藤さんが言うように、参加者は土曜の夜を楽しみに集まってきました。「いつか近いうちに、また三本塚の公会堂でやりたいですね」と佐藤さんが言うきました。

2013
6月



中島百合子さんご一家

Nakajima Family
松島
Matsushima

荒浜地区で新聞販売所を営んでいた中島さん一家。震災でご主人を失った悲しみに向き合いながら、残された家族6人で支え合い、昨年9月松島町の高台に建つニュータウンへ移転しました。

◀大好きなご主人の洋服を着たぬいぐるみは、百合子さんの宝物。4人のお子さんと長男のお嫁さんとともに暮らしています

— 移転先を選んだ理由は
私の実家が松島で、そこに避難していたんですよ。じいちゃん、ばあちゃんも歳だし、近くにいてくれて言ってるね。ここじゃ波も来ないだろうと。

— 移転を決めたのは
震災の一年後ぐらいには建てるぞって決めました。私は過去は振り返らない、今は止まらない、未来は変えられるって性格だから、くすぶってられないと思って(笑)。その年の五月ごろに土地を買って六月に着工しました。

— 助成制度の利用は
こっちにいると、仙台市の情報は入りづらくて、仙台市発行の冊子や新聞やニュースをくまなく調べましたよ。でも、ハウスメーカーの営業の方がいろいろ調べてくれて、手続きの方法を教えてくださいました。松島町の支援金とかも調べてくれましたよ。

— ご近所さんとの付き合いはありますか
私たちが入ったところは、周りほとんど更地だったんですよ。



若林 → 新天地へ

教えて 独自移転のアレコレ

防災集団移転促進事業が進む中、仙台市を離れ新天地で生活を始めた方々がいます。移転地を選んだ理由は？ 新しい土地での暮らしはどう？ などなど…気になる疑問を、新しい生活を始めたご家族にお聞きしました。

山田昭男さんご一家

山田昭男さんは、約10年間荒浜地区自治会の会長を務めています。今年4月、宮城野区の借り上げ民間賃貸住宅から、名取市の住宅地へ独自移転しました。こだわりの込められた新築のお宅でご夫婦にお話を伺いました。



山田昭男さんと奥様のふみ子さん。悠々自適な2人暮らしです▶

— 集団移転ではなく、独自移転を選んだ理由は
八十歳過ぎていから、融資が無理なんです。それで、集団移転の土地価格だと難しい。たまたま娘の家までの通り道にこの土地の販売センターがあったんで、寄ってみたんですよ。そしたらちょうど値下げしたっていうので、娘とも相談して決めました。

— 助成制度は利用しましたか
ローンを組まなかったし、(利子補給などは)使っていないです。ね。引越し費用は手続き中です。

— 行政情報は届いていますか
(自治会長という)立場上、情報は入ってくるね。用事があれば、こっちから役所へ出向いてるよ。

— 環境はいかがですか
借り上げ民間賃貸住宅はアパートの一階だったから、上の階の足音とかすごくて。今は静かすぎるくらい静かです。

— ご近所づきあいはありますか
若い人が多いね。朝ゴミを捨

でも最近被災地から移転して来た人で大体土地が埋まってきたんですよ。ご近所さんは「男手いるとき使ってるね」なんて声をかけてくれます。人が多くなつたから、そのうち団地内ぢやんと町内会つくらないとね。

— 住み心地はどうですか
寒くも暑くもなく、海沿いだから荒浜と同じかもしれない。静かだけど、少し歩くと日本三景松島の海岸があつて天気の良い時は散歩してますよ。新しい土地なりになじむまで大変な面もあるけど、それ以上にいい面もありますよ。

— 荒浜の方とは会いますか
ほとんどメールかな。でも、たまに仲のいい人が遊びに来て宅飲みしてるの。

— 新居のこだわりは
私の希望は、お父さんの仏壇を居間に置いてもらうことだけ。南向きの日当たりのいいところに向けてほしいって。日常にいろいろに話しかけてるんですよ。



思い出のスペース
ご主人の残した手紙と写真。
荒浜の家を建てた時、将来渡すために、ご夫婦とお互いにためた手紙が。奥には娘さんと仲良しの猫の福ちゃん



こだわりポイント
昭男さんの安らぎスペース、小上がりのこたえをいじりたい。いる時が癒しの時間です。段差が大きい分、上り下りのちよといた運動になるんですよ。

— 新居のこだわりは
荒浜の家は二階建てだったけど、ほとんど使わなかった。だから今度家を建てる時は平屋って決めてたんです。見せるための家じゃなく、住むための家だから、使い勝手のいい家じゃないと意味がないもんね。

てに行くこと、向こうから言葉をかけてくれるし、なかなかいいですよ。周りは、地元の人以外が多くていろんなところから集まっているから、逆になじみやすいのかもしれないですね。

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●7日(日) ボクにもできたよ～
(卸町5丁目公園仮設住宅)



山形市から2名の職員が餅つきに訪れ、力自慢の住民や就学前の男の子も杵をふるいました。出来たてのお餅は参加者でいただきました。皆で食べるとおいしさも倍増です。

●12日(金) 歌って、踊って、笑って!!
(七郷中央公園仮設住宅)

この日の集会所は合唱や笑い声でにぎやか。仮設住宅などを訪問する歌手やパフォーマンスの集団「杜の都の笑楽隊」の公演が行われていました。

童謡や唱歌の替え歌合唱、バルーンアートなどのパフォーマンスのほか、地元宮城で活躍中の歌手がその歌声を披露しました。

北島三郎さんの名曲「祭」が始まり、出演者の皆さんも勢ぞろいで踊り出すと、待ってましたとばかりにお住まいのTさんが飛び入り参加。そのコミカルな踊りで一同の爆笑をさらったTさん、この日の主役の座を奪っちゃいました。



この日の集会所は合唱や笑い声でにぎやか。仮設住宅などを訪問する歌手やパフォーマンスの集団「杜の都の笑楽隊」の公演が行われていました。

●16日(火) 大所帯のお花見はにぎやか
(船岡城址公園)

七郷中央公園仮設住宅、荒井2号公園仮設住宅、荒井7号公園仮設住宅、借り上げ民間賃貸住宅の方と、多くの皆さんが参加したのは、支援団体「すずめのお宿」が主催するお花見会です。

会場の柴田町・船岡城址公園の桜は満開の見ごろとあって、参加者の皆さんもまずはゆっくりと桜を鑑賞。



桜吹雪の舞い散る中、お花見弁当にも舌鼓を打ち、懐かしい顔ぶれを見つけると話にも花を咲かせていました。

この後、大河原の一目千本桜を鑑賞し、プチ旅行気分を満喫した皆さんでした。

●16日(火) 頭と体を使って、健康体操しました!
(六郷市民センター)



「いぐねおぢゃこの会」は、六郷の方を対象に、支えあいセンターわかばやしと六郷市民センターが毎月開催しているサロンです。

今回は、頭と体を同時に使う健康体操にトライしました。インストラクターの説明を聞きながら、両手両足を指示通りに動かしますが、なかなか思うようにはなりません。

頭で考えたように反射的に体を動かすのって、とても難しいですね。参加者もスタッフも「あれれ、右手が上じゃなくて、左手なの?」と、笑いの絶えない体操でした。

●17日(水) 若林の桜名所
(若林区役所)



七郷堀沿いに咲く満開の桜に、足を止め見入る多くのの方々。その中に、仮設住宅でお見かけするお顔が。「区役所へ用足しついでに花見ができて、得した気分だよ」とうれしそうでした。

●30日(火) ももしも亀よ～
(卸町東2丁目公園仮設住宅)



みやぎ生協主催のお茶会にて、参加者の長寿を願って、フェルトの亀を作りました。手芸の得意な女性は勿論、未経験の男性も参加。皆それぞれの亀が出来上がりました。

読者から
ひとこと

●五月の連休に山形の温泉に行ってきました。久しぶりに県外に出たから、この時だけはいつもの考えや心配事も忘れて楽しんできました。少しリフレッシュできたかな。せっかく将来のことを考えるんだから、前向きでいたいといけませんよね。

若林区/佐藤さん

●あすと長町に復興公営住宅がたくさん建設されることになったみたいですね。それはそれでうれしいんですけど、できればここで仲良くなった住民の方と一緒に移転したいなあって、それは贅沢な悩みなのかしら。知らない土地で一人で暮らすのは、正直やっぱり心細いものよ。

太白区/Kさん

●住まいは福田町に移ったけど、日中は浦生の自宅跡地に来てるね。海で育ったからやっぱり海のそばが落ち着くんだったちゃ。色んな人が見学に来るから、津波体験を伝えているんだ。

宮城野区/渡辺市雄さん

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいだった方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団体に話し合われている内容についてお知らせします。

荒浜移転
まちづくり協議会

集団移転の早期実施と移転後の荒浜の地域コミュニティ再生を目的としています。

五月十日(金)定例会議

内容

●ハウスメーカーからの説明

当日の様子

今回は、ハウスメーカー二社から、復興住宅にふさわしい建築プランや各住宅の特徴などの説明を受けました。

協議会が七月に開催を予定しているイベントでは、ハウスメーカー数社を招いて情報提供を行うことや、ファイナンシャル・プランナーによる資金計画の考え方に關する説明を行うことが伝えられました。



問い合わせ先
代表 宋永薫 (問い合わせがある場合は直接定例会場においてください)
定例会
第2・4金曜日19:00～
サンピア2F 会議室4

荒浜再生を願う会

荒浜に戻って生活再建を目指す住民有志が中心となって活動しています。

五月二十日(月)定例会議

内容

●浄土寺の今後について

当日の様子

荒浜に仮本堂を置く浄土寺の中沢住職をお招きして、これからの浄土寺についてのお話をうかがいました。

中沢住職から、現在のところ、浄土寺の再建や墓地のあり方に関して、具体的なことは何も決まっていなないこと。またこれからも関係者や地域の方々の気持ちを大事にして今後のことを検討していくなどのご意向が伝えられました。



問い合わせ先
代表 貴田喜一 090-8254-4270
定例会議
毎週月曜日19:00～
荒井小学校用地仮設住宅集会所

荒浜復興公営住宅
(戸建)推進協議会

戸建の復興公営住宅を希望する方々の勉強会です。

五月十三日(月)定例会議

内容

●参加者からのヒアリング

当日の様子

建築系の専門家から応援を得て、十三名の参加者それぞれから、どのような公営住宅を希望するのか、どの地区を希望するのかなど、聞き取り調査をしました。

また、山元町の災害公営住宅のニュースを見て「是非、見学したい」との声が多かったので、近日中に、山元町の災害公営住宅を訪問し、見学できるように、関係各所へ働きかけることにしました。



問い合わせ先
代表 最知幸子 080-3194-8439
定例会議
第2・4月曜日13:30～
荒井小学校用地仮設住宅集会所

東六郷移転推進協議会

東六郷の浸水区域から六郷地区への集団移転に向けて活動しています。

四月三十日(火)定例会議

内容

●新メンバーの加入報告

●土地買付交渉依頼書の署名ほか

当日の様子

新メンバー二名を迎えて、移転事業の経過と現在の状況を再確認し、土地の買付交渉依頼書の確認と署名が行われました。また、会として移転までに係る費用を徴収し、管理のための会計係を設置することを決めました。造成に關しては、業者の選定や造成方法などについて意見を出し合い、次回以降の課題とすることが確認されました。



問い合わせ先
代表 落合義光 090-4882-3368
定例会議
随時開催
日辺グラウンド仮設住宅談話室

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください



続ける支援

NPO法人NALC宮城

けやきの会の「パラソル喫茶」

「あなたと腕を組むなんて何年ぶりかしら」恥ずかしいなあ……。でも、たまにはいいか」。宮城野区中野にある仙台港背後地六号公園仮設住宅で四月末に開かれたお茶会「パラソル喫茶」でのひとコマです。着なくなった着物を再利用した「シニアエコファッションショー」に出演したペアラルック姿のシニア世代のご夫婦が、照れた様子で言葉を交わしていました。

NPO法人「NALC宮城 けやきの会」が毎月開催しているパラソル喫茶は、毎回アットホームな雰囲気、に包まれています。この日は、ファッションショーのほかビンゴ大会や手話交じりの歌の披露や尺八の演奏など内容多彩で、集まった約五十人の参加者が楽しんでいました。パラソル喫茶は二〇一一年七月から、仙台市内を中心に七カ所の仮設

住宅で、計七十回以上開かれてきました。晴れた日にはパラソルの下で、雨の日は室内で、コーヒーやお茶、お菓子が振る舞われます。悲しみや悩みなどを抱えた参加者の声に耳を傾ける傾聴活動が当初の目的でしたが、回を重ねるにつれ、歌や踊りなど娯楽的要素が多く盛り込まれるようになってきました。



ファッションショーに出演したふたり、ペアラルックが良く似合っています

「パラソル喫茶を始めたころは、一緒に泣くだけしかできませんでした。けやきの会の女川由美子さんはそう振り返ります。支援する側とされる側。互いに見ず知らずの間柄ゆえ、心を通わずまでにはそれなり

の時間が必要でした。パラソル喫茶を始めて半年が過ぎ、参加者がぼつりぼつりと身の上話をしてくれるようになりました。

けやきの会メンバーの平均年齢は六十五歳を超えています。パラソル喫茶に集まる参加者たちと同世代であることが、スムーズに活動を継続している理由のひとつでもあるようです。「震災後、初めて悩みを打ち明けられたのは私たちにに対してだった、と言ってくれる参加者も少なく



会場では「盆踊り」や「ふるさと」など、懐かしさを覚える曲が演奏されていました

ないです。近い年齢同士だからこそ、安心してしゃべってもらえるのではないかと思います」とけ

やきの会代表の林さん。

悩みもあります。「最近、参加者が固定化してきています。来てくれる人は必ず来てくれるし、来てくれない人はなかなか来てくれない」。そう話すパラソル喫茶の担当者佐藤美喜さんは、「もっと多くの人に顔を出してもらいたいです。借り上げ民間賃貸住宅に住んでいる人も、気軽にお茶とお菓子を楽しませよう」と呼び掛けています。

パラソル喫茶 6月開催日程
申込不要、参加無料

- 6月12日(水) 宮城野区/岡田西町公園仮設住宅
- 6月13日(木) 若林区/日辺グラウンド仮設住宅
- 6月26日(水) 宮城野区/仙台港背後地6号公園仮設住宅
- 6月27日(木) 若林区/荒井小学校用地仮設住宅

問/特定非営利活動法人ニッポン・アクティブ ライフ・クラブ(NALC)宮城 けやきの会
022-379-9718
<http://nalc-miyagi.jimdo.com/>

取材：大高志織@東北大学
情報ボランティア@仙台 ブログでも発信中です。
「同年代だからこそ出来る支援を」<http://flat.kahoku.co.jp/u/volunteer16/> より (地域SNS「ふらっと」ブログ)

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

被災された方のコミュニティ形成活動を支援します

仙台市では、東日本大震災で被災された方のコミュニティ形成に向けた取り組みに対して支援する「被災者交流活動助成事業」を行っています。

対象団体
応急仮設住宅などに入居する東日本大震災で被災された方が属する町内会や、被災された方が中心となって構成された団体など

対象事業
次のいずれかに該当する事業

- ①コミュニティ形成・活性化に資するまつりやイベント
- ② 自主的な勉強会、講演会
- ③ 生きがいづくりへの支援 など

助成回数と助成金額
助成回数は、1事業につき1回、1団体につき3回が限度
助成金額は、1事業あたり10万円が限度
※一部助成対象外経費あり

助成期間
平成25年4月～平成26年3月

応募方法
申込書、役員名簿、団体の目的や活動内容がわかる資料を、事業実施(開始)予定日の前々月の月末までに提出してください

応募窓口・問い合わせ
022-282-1111(内線6137) 若林区まちづくり推進課

行政に関する苦情、要望・意見はありませんか

行政困りごと相談所は、例えば相続、登記、年金保険、労働、税金、借金、離婚、暴力、生活保護など、暮らしの相談のほか行政全般を受け付けています。お気軽にご相談ください。※相談内容の一部は予約制となります

対象 どなたでも相談できます(相談無料、秘密厳守)
時 毎日10:00～18:00(店休日および年末年始を除く)
場所 藤崎一番町館6階(青葉区一番町3-4-1)
問 022-263-6201 行政困りごと相談所(総務省 東北管区行政評価局)

荒浜小学校の卒業アルバムを探しています

荒浜小学校では、震災の影響で下記の卒業アルバムが見当たらずなくなっています。該当するアルバムをお持ちの方は、ぜひ情報をお寄せください。一時借用し電子化した後、1週間程度で返却します。電子化したデータは、希望する卒業生に配布する予定です。

- 探している卒業アルバム** = 卒業年(年度)、担任
- ①1969年3月卒業(昭和43年度卒業生) 斎藤先生
 - ② 70年3月卒業(同 44年度卒業生) 千葉先生
 - ③ 71年3月卒業(同 45年度卒業生) 中沢先生
 - ④ 72年3月卒業(同 46年度卒業生) 菅原先生
 - ⑤ 73年3月卒業(同 47年度卒業生) 中沢先生
 - ⑥ 74年3月卒業(同 48年度卒業生) 広野先生
 - ⑦ 75年3月卒業(同 49年度卒業生) 高山先生
- 問** 022-288-5027 荒浜小学校

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
ほのぼの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	6月15日(土)	10:00～12:00	太白区中央市民センター	皆で活性化!脳トレしましょう!	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234
仙台市中央サロン	仙台市中央市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	6月15日(土)	10:00～12:00	仙台市中央市民センター	おしゃれなフォトフレームづくり	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
いぐねおちゃっこの会	六郷地区にお住まいだった方、現在も居住している方	6月18日(火)	10:00～12:00	六郷市民センター	六郷地区の歴史を語る	要(返信はがき)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
体を動かそう(健康体操)	泉区のみなし仮設にお住まいの方	6月19日(水)	10:00～12:00	黒松市民センター	八乙女地域包括支援センターの方と一緒に健康体操	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
音楽の力で元気になる!! 旭ヶ丘みんなのコンサート	旭ヶ丘市民センター周辺のみなし仮設にお住まいの方	6月27日(木)	13:00～15:00	旭ヶ丘市民センター	復興支援コンサート	要(招待券を持参ください)	支えあいセンター あおば 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

健康相談などのお知らせ

電話：022-282-1111(若林区家庭健康課・障害高齢課)

相談名	時	時間	会場	内容	担当	問い合わせ
母と子の健康相談	6月11日(火)	9:30～10:30	七郷保健センター	育児の心配や母と子の健康についての相談	保健師・栄養士	家庭健康課 内線6772
	6月28日(金)	13:30～14:30	若林区役所3階			
	7月5日(金)	9:30～10:30	六郷保健センター			
子どものこころの相談室	6月11日(火)	午後・予約制	若林区役所3階	震災後の子どものこころの健康に関する相談(要予約)	臨床心理士	
健康づくり講話 健康づくり相談	6月19日(水)	13:30～14:30 14:30～15:30	若林区役所3階	口腔ケアで歯周病予防～元気なお口ですこやかに生活～健康相談	歯科衛生士 保健師、栄養士、歯科衛生士	家庭健康課 内線6785
こころの健康相談	6月6日(木) 6月10日(月) 6月20日(木) 6月28日(金)★	13:30～16:30 ★の日は 9:00～12:00	若林区役所3階	こころの健康に関する相談(要予約)	精神科医師、 精神保健福祉相談員、 保健師など	障害高齢課 内線6752
震災こころの相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口など	震災によるストレスやこころの相談	保健師など	
高齢者総合相談	随時(土日祝日除く)	8:30～17:00	若林区役所1階窓口	高齢者の健康や介護・福祉の相談	保健師など	
認知症高齢者の家族交流会	6月21日(金)	13:30～15:00	若林区役所3階 健康教育室	家族介護教室 講話「もしも認知症 ～早期受診につなぐには」	講師：仙台富沢病院 精神保健福祉士	障害高齢課 内線6307

